

【声に出して読む】 俳句 正岡子規 一

柿食へば 鐘が鳴るなり 法隆寺

かきくえば かねがなるなり ほうりゅうじ

いくたびも 雪の深さを 尋ねけり

いくたびも ゆきのふかさを たずねけり

春や昔 十五万石の 城下かな

はるやむかし じゅうごまんごくの じょうかな

糸瓜咲て 痰のつまりし 仏かな

へちまさいて たんのつまりし ほとけかな